※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	1＋1 単位	年次	３年次前期･後期
使用教科書	「詳述　政治・経済」（実教出版）						
副教材等	「最新図説　政経」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「政治・経済」は，２年次で学んだ「公共」で学習した内容を深め，発展させるものです。公共では政治や経済などの基本を学びましたが，「政治・経済」では，さらに現代の政治や経済に関する具体的な課題や問題点に関して深く掘り下げていきます。

現代の諸課題を捉え、考察するには、政治・経済に関する基本的な概念や理論の理解が不可欠です。まずは、授業やその復習を大切にして、基礎知識をしっかりと身につけてほしい。

次に、その知識を基に、現代の諸課題を多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を身につけるために、グループワークや各種演習に取り組んでほしい。

また、板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをメモするなど、主体的に学習の幅を広げ、また、深めることで、現代の諸課題を主体的に解決しようとする意欲を示してほしい。

2　学習の到達目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。

(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代日本の政治・経済の諸課題／グローバル化する国際社会の諸課題	日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論 民主政治の基本原理 1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障の発展 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート
		現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮 5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり 現代経済と福祉の向上 1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止 5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	グローバル化する国際社会の諸課題／現代日本における政治・経済の諸課題	現代の国際経済 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と金融危機 4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題 国際社会の諸課題の探究 1. 紛争の解決に向けた 国際社会の取り組み 2. グローバル化にともなう 人々の生活や社会の変容 3. イノベーションと成長市場 4. 地球環境と資源・エネルギー問題 5. 国際経済格差の是正と国際協力 6. 持続可能な国際社会づくり 経済社会の変容 1. 経済活動の意義 2. 経済社会の形成と変容 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ 現代日本における諸課題の探究 1. 地域社会の自立と政府 2. 防災と安全・安心な社会の実現 3. 歳入・歳出両面での財政健全化 4. 産業構造の変化と企業 5. 食料の安定供給の確保と持続 可能な職業構造の実現 6. 多様な働き方・生き方を 可能にする社会 7. 少子高齢社会における 社会保障の充実・安定化	a:左記の学習内容に関する概念や理論について理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の学習内容に関する基本的な概念や理論を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 c:左記の学習内容について、授業ノートやプリントの作成、テーマ課題の作成などに主体的に取り組むことを通じて、現代の諸課題を主体的に解決することを意識している。	定期考査	定期考査	授業ノート・プリント テーマ課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度